| 科目コード | ナンバリング | 単位数 | 学期 | 授業区分 | 科目区分 | 履修区分 | 学年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 320241 | XZY3320241 | 1 | 後期 | 国際学部国際文化学科 | 専門 | 選択 | ４年 |
| | | | | 国際学部国際文化学科英語集中コース | 専門 | 選択 | ４年 |
| 授業科目 | 担当教員 | | | 情報文化学部情報文化学科 | × | × | × |
| 中国語７a | 朱　継征 | | | 情報文化学部情報システム学科経営コース(26 年度以降) | × | × | × |
| | | | | 情報文化学部情報システム学科情報コース(26 年度以降) | × | × | × |
| | | | | 情報文化学部情報システム学科経営コース(25 年度) | × | × | × |
| | | | | 情報文化学部情報システム学科情報コース(25 年度) | × | × | × |
| | | | | 情報文化学部情報システム学科(24 年度以前) | × | × | × |

## 授業目的

この授業は中国語の人文・社会科学分野の文献、新聞記事やテレビニュースなどの理解について、知識面の拡大と語彙量の増加に重点を置きながら、依然として聴解力、会話力、読解力、作文力などの中国語の総合的な実践力の訓練に力を入れ、通訳・翻訳の訓練を行い、社会での活躍の様々なことを想定した中国語の討論会や発表会を行う。その総合的な実践能力を高める中で、さらに中国語検定試験 3～2 級合格、HSK(漢語水平考試)4～6 級合格を目指す。授業用の言語はできるだけ多く中国語を使用する。映画による理解力向上の方法も導入する。

## 各回毎の授業内容

第１回
【授】日中関係の新聞記事を題材として学ぶ。
【前・後】事前になし。事後は、よく復習して聞く、話す、読む、書くなどの面で練習する。約２時間必要。

第２回
【授】日中関係の新聞記事を題材として学ぶ。
【前・後】事前は、予定の内容を予習して単語を覚えておく。事後は、よく復習して練習する。約２時間必要。

第３回
【授】日中関係について中国語の討論会を行う。
【前・後】事前は、単語を調べて討論の内容を準備する。事後は、よく復習して練習する。約２時間必要。

第４回
【授】日中関係の事について通訳・翻訳の訓練を行う。
【前・後】事前は、単語を調べて討論の内容を準備する。事後は、よく復習して練習する。約２時間必要。

第５回
【授】中国現代文学の作品を題材として学ぶ。
【前・後】事前は、予定の内容を予習して単語を覚えておく。事後は、よく復習して練習する。約２時間必要。

第６回
【授】中国現代文学作品について中国語の討論会を行う。
【前・後】事前は、単語を調べて討論の内容を準備する。事後は、よく復習して練習する。約２時間必要。

第７回
【授】中国現代文学の作品を題材として学ぶ。
【前・後】事前は、予定の内容を予習して単語を覚えておく。事後は、よく復習して練習する。約２時間必要。

第８回
【授】中国現代文学作品について中国語の討論会を行う。
【前・後】事前は、単語を調べて討論の内容を準備する。事後は、よく復習して練習する。約２時間必要。

第９回
【授】中国のポピュラー映画を見る。
【前・後】事前は、映画の内容を熟知するよう予習する。事後は、よく復習して練習する。約２時間必要。

第１０回
【授】中国のポピュラー映画を見る。
【前・後】事前は、映画の単語を書き取るよう練習する。事後は、その単語をできるだけ覚える。約２時間必要。

第１１回
【授】中国のポピュラー映画を見る。
【前・後】事前は、映画のセリフを書き取ってみる。事後は、そのセリフを語ってみる。約２時間必要。

第１２回
【授】中国映画の内容をめぐって討論する。
【前・後】事前は、各自の見解を中国語で準備する。事後は、よく復習して練習する。約２時間必要。

第１３回
【授】中国のポピュラー映画を演じて見る。
【前・後】事前は、各自の役を理解してその演じ方を準備する。事後は、よく復習して練習する。約２時間必要。

第１４回
【授】中国語検定試験あるいは HSK の上級レベルについての指導。
【前・後】事前は、中検あるいは HSK の資料を収集する。事後は、よく復習して練習する。約２時間必要。

第１５回
【授】中国語検定試験あるいは HSK の上級レベルの模擬試験と総括。
【前・後】事前は、中検あるいは HSK の上級の問題を検討する。事後は、各自の経験を総括する。約２時間必要。

第１６回
【授】定期試験
【前・後】事前は総合復習をする。約２時間必要。

## 成績評価方法

| | 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲 | 強調・指導力 | 発表・表現 | その他 | 評価割合(%) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 定期試験 | | | | | | | 60 |
| 小テスト・授業内レポート | | | | | | | 20 |
| 宿題・授業外レポート | | | | | | | |
| 授業態度・授業への参加 | | | | | | | 20 |
| 成果発表（口頭・実技） | | | | | | | |
| 演習 | | | | | | | |
| その他 | | | | | | | |

成績判定は主に定期試験の結果に基づくが、授業での活躍と出席状況も成績判定の重要な根拠になる。定期試験の成果や問題点を総括して後に説明する。

## 教科書参考書

教科書のほかに、新聞記事、文学作品、映画などを導入する。
各種の中国語辞書を活用する。

## 受講に当たっての留意事項

辞書を持参すること、予習・復習をすること。
聞く、話す、読む、書くなど総合的な面で、積極的にコミュニケーションに取り組み、中国語の実践能力を高めるよう努力する。日本語の使用を最小限にする。

## 学習到達目標

新聞記事やテレビニュースなどを徐々に理解するようになり、それをめぐって意見交換をするように挑戦する。中国語の人文・社会科学分野の文献や作品、新聞記事やテレビニュースなどに関する理解力を向上し、中国語の通訳・翻訳など国際的に活躍する総合的な実践力を高め、中国語検定試験 3～2 級や HSK4～6 級の合格を目指す。

## JABEE

【授】: 授業内容【前・後】: 事前・事後学習